

小学生の放課後に関する実態調査 結果抜粋

1 調査の目的

本市の放課後施策を総合的・計画的に実施するための行動計画である「第2期放課後子どもプラン」の策定に当たり参考とするため、小学生の放課後に関する実態やニーズ、各種放課後施策に対する評価等を調査するものです。

2 調査対象

千葉市立小学校に通う児童が属する全ての世帯（36,155世帯）

※世帯数は令和4年7月に各校から聴取。

3 調査期間

(1)アフタースクール 令和4年6月7日から令和4年6月20日

(2)子どもルーム 令和4年6月7日から令和4年6月20日

(3)放課後見守り事業 令和4年6月21日から令和4年6月28日

4 調査方法

Web方式

※学校・家庭間連絡システム「すぐーる」により、保護者に協力依頼を一斉送信。

5 回収状況

調査対象	調査実施校	配布数	有効回答数	有効回答率
アフタースクール設置校	24校	5,128	2,419	48.0%
子どもルーム設置校	83校	31,018	15,731	50.8%
放課後見守り事業実施校	1校	9	9	100.0%
計	108校	36,155	18,159	50.3%

【学年別有効回答数】

	全学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	不明
有効回答数	18,159	3,978	3,731	3,154	2,729	2,367	2,137	63
構成比	100.0%	21.9%	20.5%	17.4%	15.0%	13.0%	11.8%	0.3%

※小学生が複数いる世帯については、そのうち一番年下の子について回答。

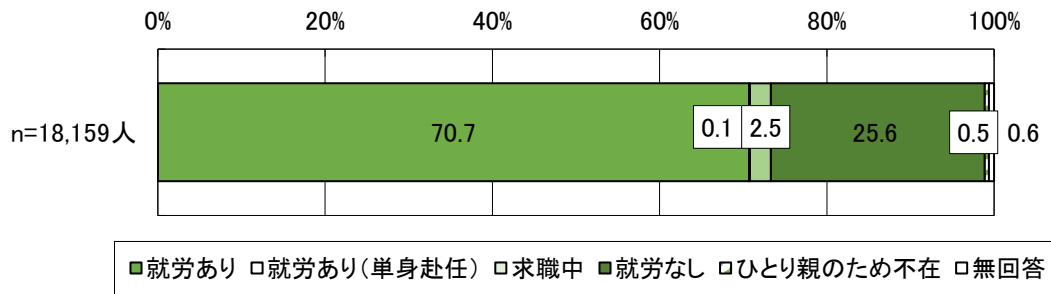
6 新型コロナウイルス感染症の影響について

令和2年1月に日本で最初の感染者が確認された新型コロナウイルス感染症は、本調査実施時点においても収束していません。上記6の放課後施策において感染拡大防止のための利用自粛・活動自粛が生じていたことや、感染状況に対する回答者の懸念が、本調査の結果に影響を及ぼしている可能性があります。

7 調査結果（抜粋）

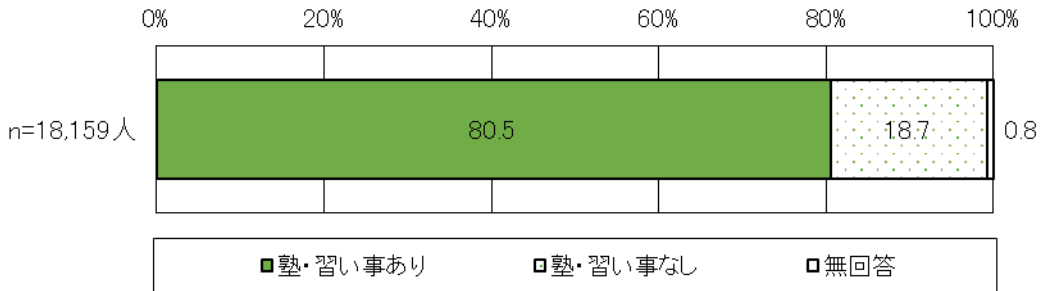
●母親の就労状況【全体】

「就労あり」の母親が7割を超えています。



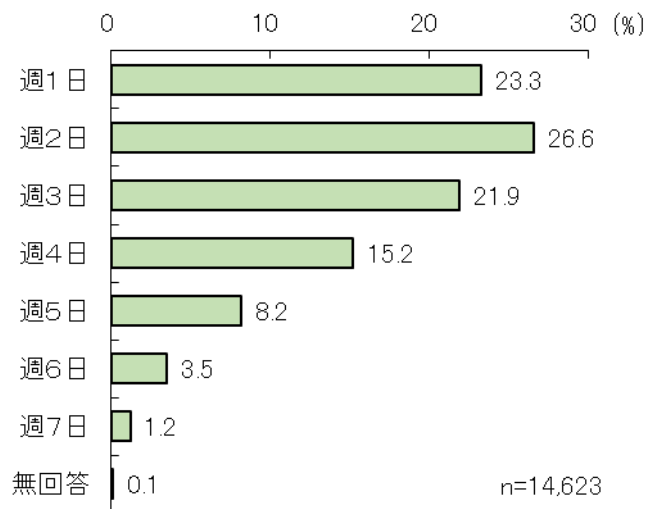
●塾や習い事の有無【全体】

「塾・習い事あり」の割合が8割を超えています。



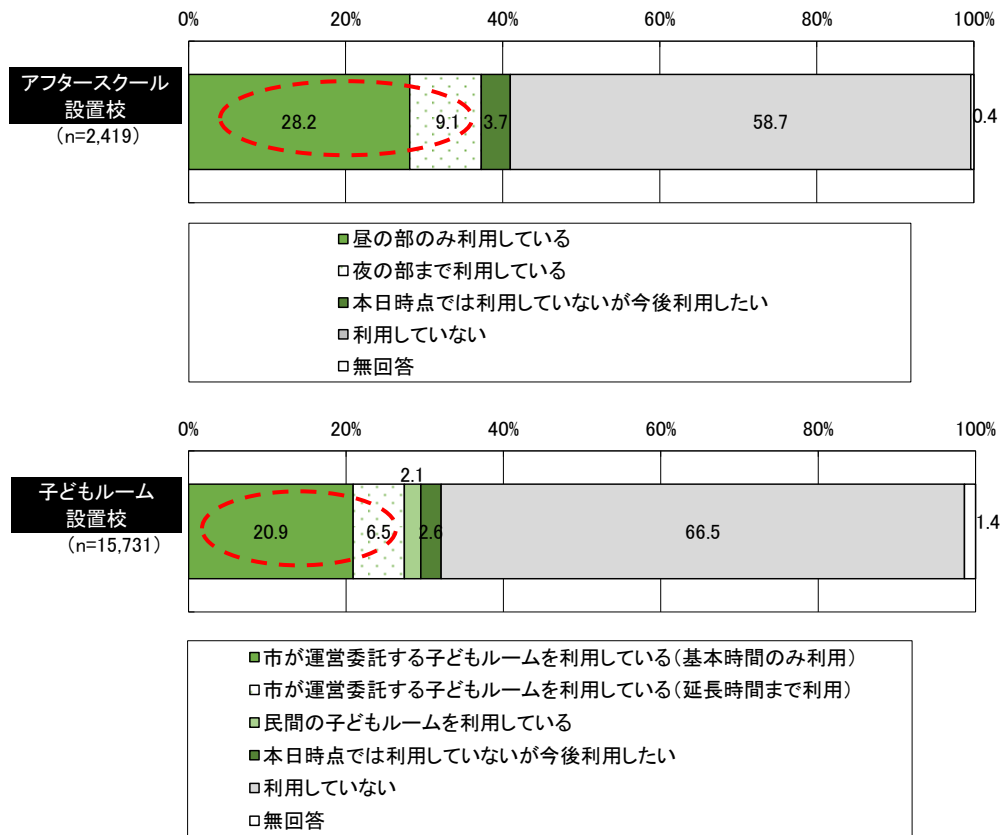
●塾・習い事の日数【全体】

「週2日」の割合が26.6%と最も高く、次いで「週1日」(23.3%)、「週3日」(21.9%)の順に高くなっています。



●AS／ルームの利用状況【比較】

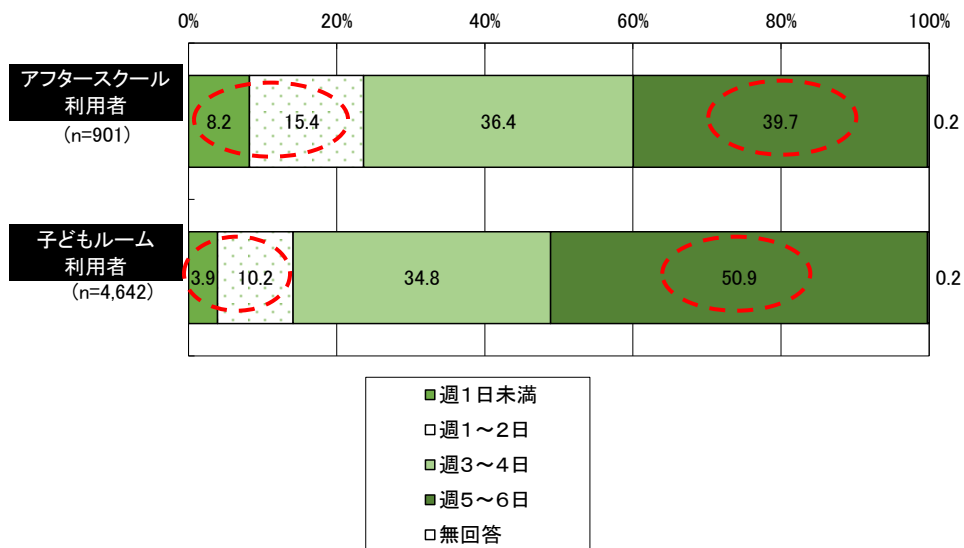
「利用している」の割合は、アフタースクールが37.3%（昼の部のみ+夜の部まで）、公設子どもルーム（基本時間のみ+延長時間まで）が27.4%と、アフタースクールの方が10%程度高くなっています。



●AS／ルームの利用頻度【比較】

子どもルーム利用者では、「週5～6日」の割合が50%を超えており、アフタースクール利用者より10%以上高くなっています。

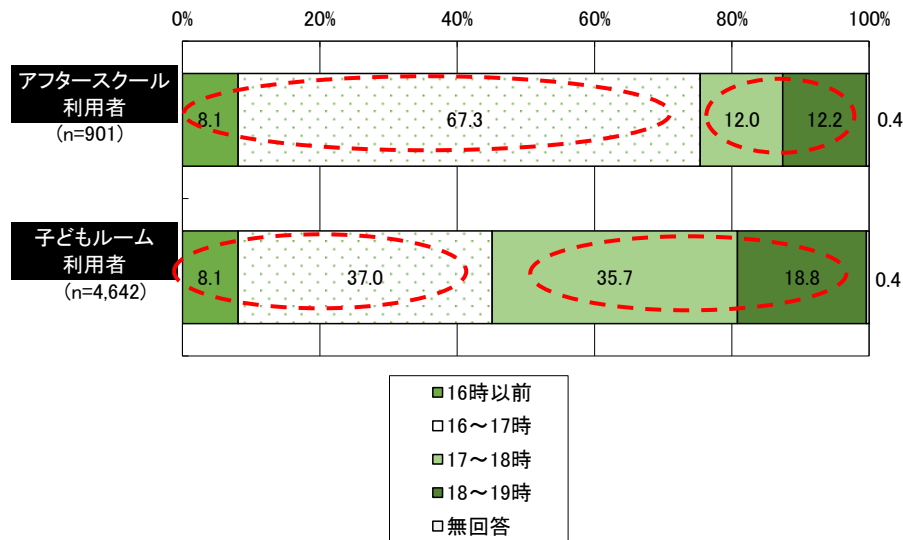
また、アフタースクール利用者では、「週2日以下」（「週1日未満」+「週1～2日」）の割合が23.6%（8.2%+15.4%）となっており、子どもルーム利用者の14.1%（3.9%+10.2%）より10%程度高くなっています。



●AS／ルームの利用を終える時間【比較】

利用を終える時間が「17時以降（「17～18時」＋「18～19時」）」の割合は、アフタースクールが24.2%（12.0%＋12.2%）であるのに対し、子どもルームは54.5%（35.7%＋18.8%）となっています。

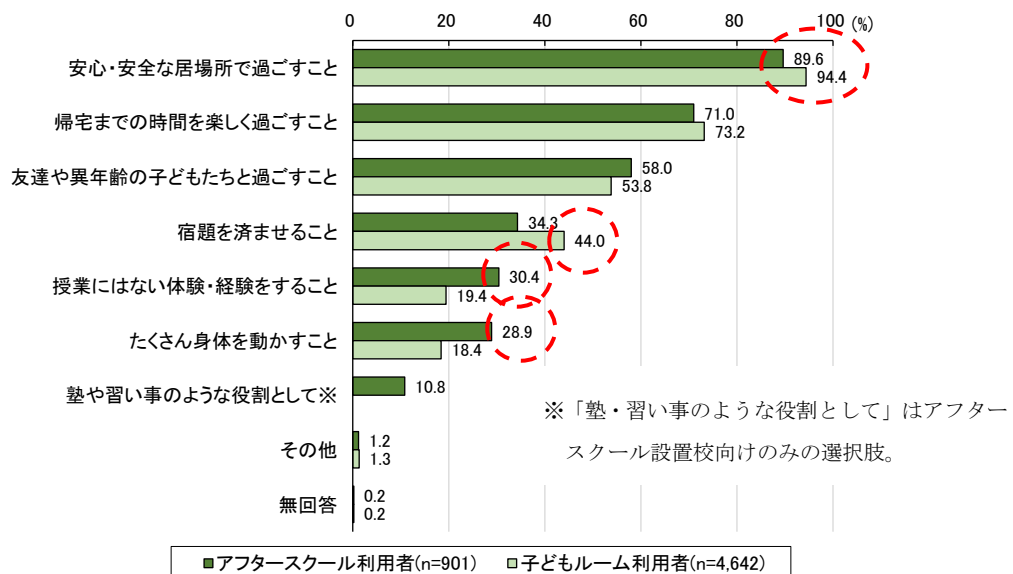
また、利用を終える時間が「17時まで（「16時以前」＋「16～17時」）」の割合は、アフタースクールが75.4%（8.1%＋67.3%）であるのに対し、子どもルームは45.1%（8.1%＋37.0%）となっています。



●保護者にとってのAS／ルームの主な利用目的【比較】

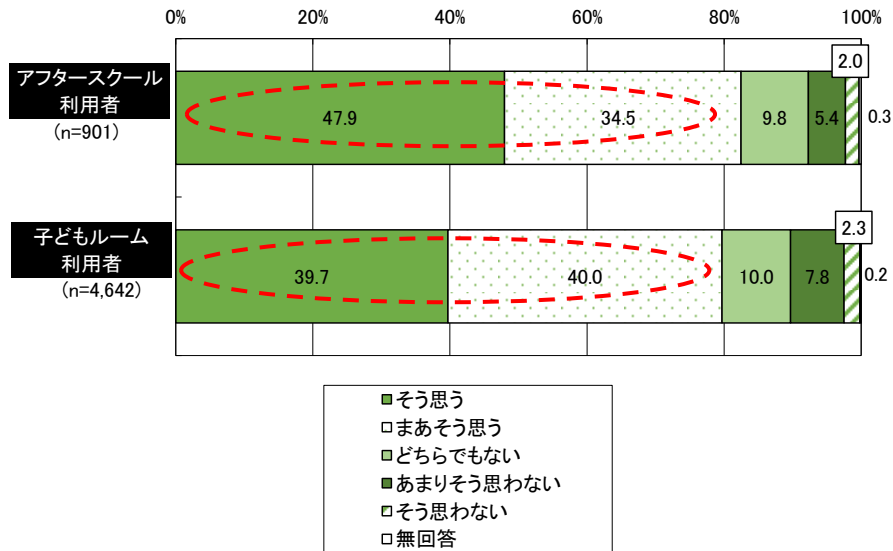
いずれも「安心・安全な居場所で過ごすこと」が最も高く、アフタースクールは89.6%、子どもルームは94.4%となっています。次いで「帰宅までの時間を楽しく過ごすこと」、「友達や異年齢の子どもたちと過ごすこと」、「宿題を済ませること」、「授業にはない体験・経験をする事」、「たくさん身体を動かすこと」の順に高くなっている点も共通しています。

「授業にはない体験・経験をする事」と「たくさん身体を動かすこと」の割合は、アフタースクールが子どもルームより10%以上高くなっています。一方、「宿題を済ませること」の割合は子どもルームがアフタースクールより10%程度高くなっています。



●おさんはAS／ルームに楽しく通っているか【比較】

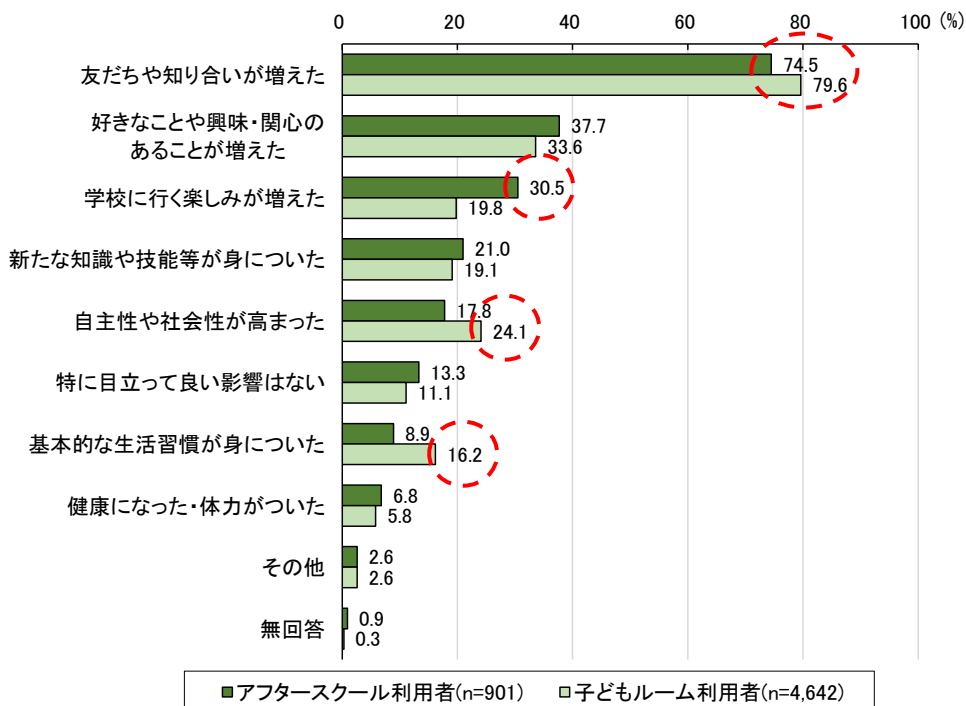
「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合はいずれも約8割となっていますが、「そう思う」の割合は、アフタースクールが47.9%、子どもルームが39.7%と、アフタースクールの方がやや高くなっています。



●AS／ルームを利用したことによる児童への影響【比較】

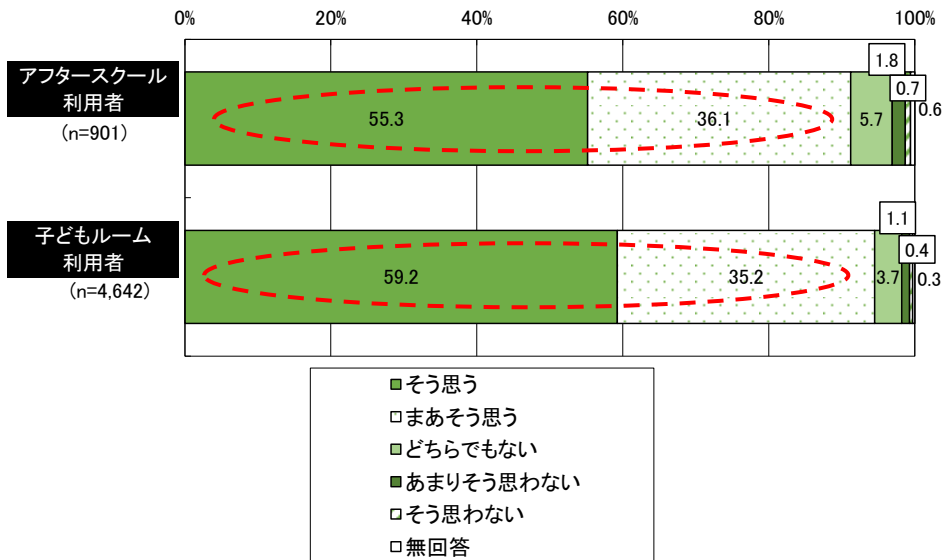
いずれも「友達や知り合いが増えた」が最も高く、アフタースクールは74.5%、子どもルームは79.6%となっています。次いで「好きなことや興味・関心のあることが増えた」が高い点も共通しています。

「学校に行く楽しみが増えた」の割合はアフタースクールの方が10%以上高く、「自主性や社会性が高まった」と「基本的な生活習慣が身についた」の割合は子どもルームの方がやや高くなっています。



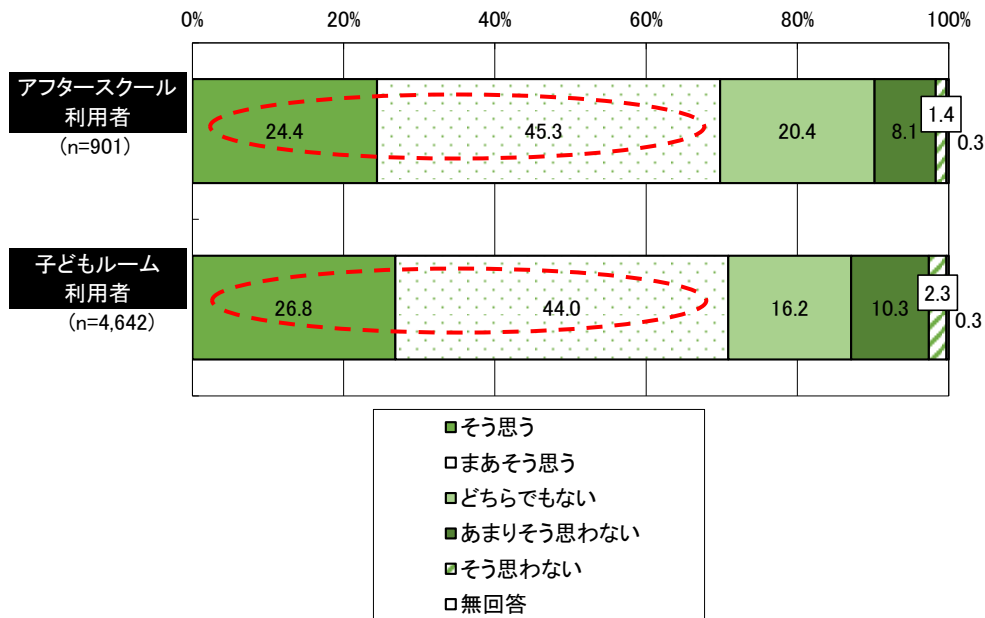
●AS／ルームは安全・安心な居場所であると思うか【比較】

「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合は、アフタースクールが 91.4% (55.3%+36.1%)、子どもルームが 94.4% (59.2%+35.2%) といずれも 9 割を超えています。



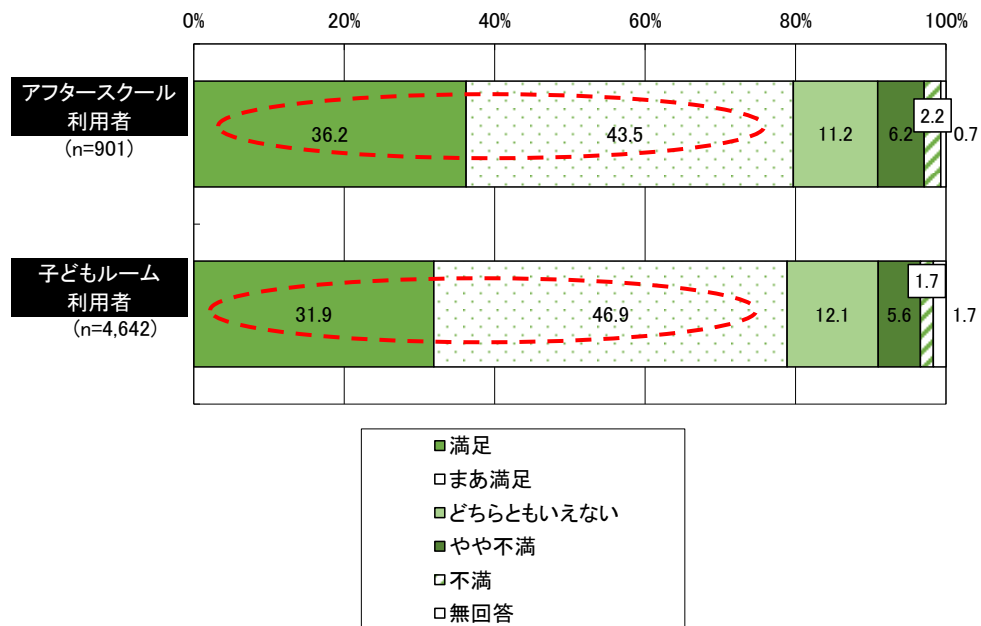
●AS／ルームの施設環境、備品・遊具等は十分整っていると思うか【比較】

「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合はアフタースクールが 69.7% (24.4%+45.3%)、子どもルームが 70.8% (26.8%+44.0%) といずれも 7 割程度となっています。



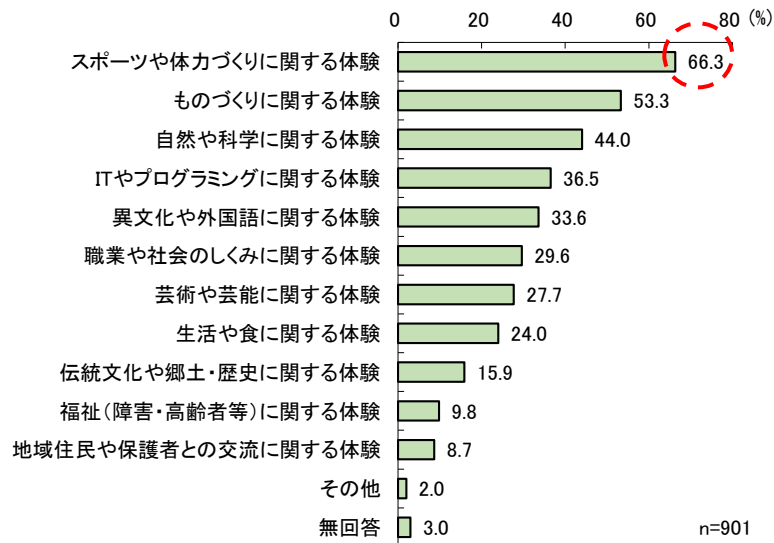
●保護者としてAS／ルームに満足しているか【比較】

「満足」と「まあ満足」を合わせた割合は、アフタースクールが79.7%（36.2%+43.5%）、子どもルームが78.8%（31.9%+46.9%）と、いずれも8割程度となっています。



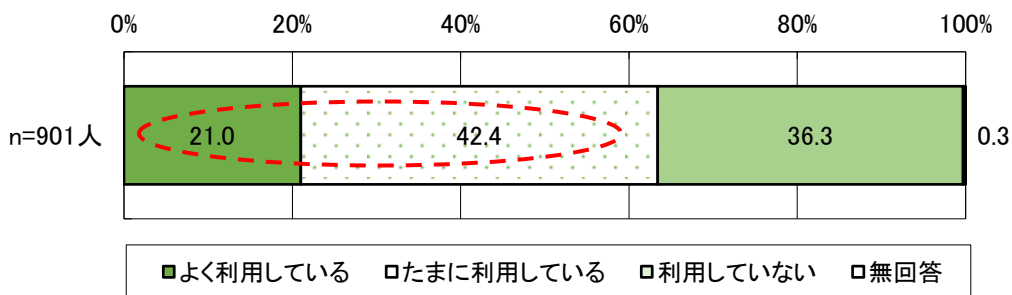
●AS で体験・経験させたいこと【ASのみ】

「スポーツや体力づくりに関する体験」(66.3%)が最も高く、次いで「ものづくりに関する体験」(53.3%)、「自然や科学に関する体験」(44.0%)の順となっています。



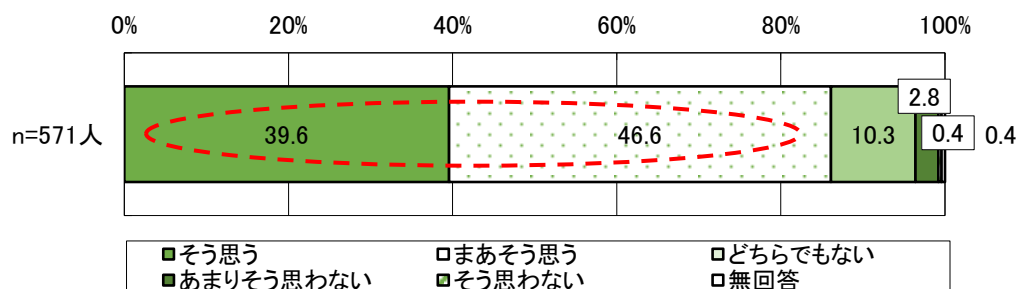
●体験プログラムの利用状況【ASのみ】

「たまに利用している」(42.4%)が最も高く、次いで「利用していない」(36.3%)、「よく利用している」(21.0%)の順となっており、「よく利用している」と「たまに利用している」を合わせた体験プログラムの利用率は63.4%となっています。



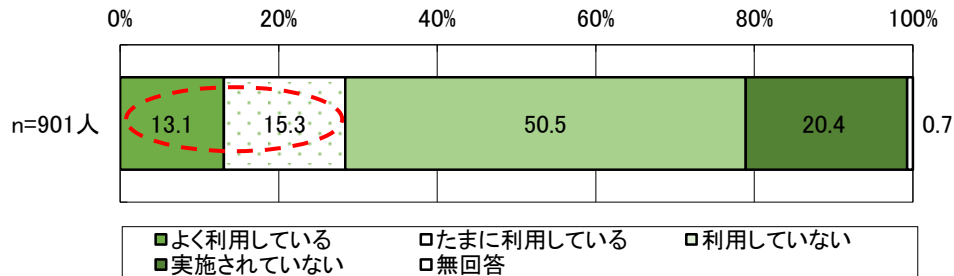
●おさんは体験プログラムに満足していると思うか【ASのみ】

「まあそう思う」(46.6%)が最も高く、次いで「そう思う」(39.6%)、「どちらでもない」(10.3%)の順となっており、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた満足度は86.2%となっています。



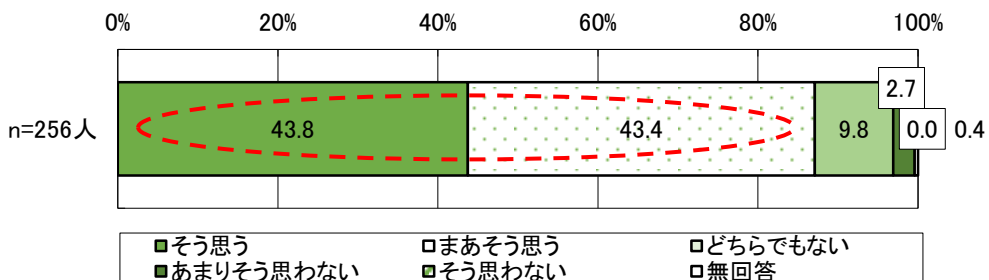
●継続プログラムの利用状況【ASのみ】

「利用していない」(50.5%)が最も高く、次いで「実施されていない」(20.4%)、「たまに利用している」(15.3%)の順となっており、「よく利用している」と「たまに利用している」を合わせた利用率は28.4%となっています。



●継続プログラムに満足していると思うか【ASのみ】

「そう思う」(43.8%)が最も高く、次いで「まあそう思う」(43.4%)、「どちらでもない」(9.8%)の順となっており、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた満足度は、87.2%となっています。



●継続プログラムとして提供してほしいもの【ASのみ】

「運動・体操・ダンス」(57.3%)が最も高く、次いで「英語・英会話」(45.2%)、「書道・習字」(39.6%)の順となっています。

